



ふるかわ かつすけ
古川 克介

【主な講演テーマ】 『障がい者問題』

【講師からのメッセージ】

『障がい者問題=福祉問題から人権問題・女性・部落・黒人・在日外国人・少数民族アイヌ・などと同等の人権問題として扱う必要があります。

中でも、障がい者問題の差別の根幹は、人々に巣くう「優性思想」にあり、そのことが障がい者の存在自体を脅かしています。その傾向は、羊水検査、血液検査による胎児診断、人ゲノムの解析や脳死臓器移植の発展、尊厳死や安楽死など、人が人である基準を突き詰めようとするにより、生を受けても良い命とそうでない命や生かして良い命とそうでない命を選別する結果になっています。

もともと、人の命に貴賤はなく、どんな命も祝福を持って迎えられなければならないと、また、どのような状態になっても、人としての尊厳を最後の瞬間まで尊重されなければならないと思うのです。

障がい者問題をとおして、命の平等性を提起し、真の意味での共生社会の実現に役立てられたらと考えています。』

【現職】 地域活動支援センターフロンティア代表

特定非営利活動法人自立生活センター久留米 理事長

【研究歴、活動歴】

昭和 57 年（1982 年）障害者の自立を考える青年の会設立

平成 6 年（1994 年）自立生活センター久留米設立

平成 7 年（1995 年）共同作業所フロンティア設立

平成 8 年（1996 年）久留米市共同作業所連絡会会長就任

平成 11 年（1999 年）久留米市・障害者生活支援センター（ぴあくるめ）設立に関わる、
運営委員会初代事務局長就任

平成 12 年（2000 年）身体障害者ケアマネジメント試行事業責任者

平成 13 年（2001 年）久留米市障害者施策推進協議会委員に就任

平成 15 年（2003 年）特定非営利活動法人自在生活センター久留米 理事長就任

平成 18 年（2006 年）久留米市障害者福祉計画推進員就任理事長に就任

平成 24 年（2012 年）一般社団法人生活支援センター「結」理事長就任

講師の紹介

きのした かおる
木下 薫 先生

【現 職】

- こぐま学園（児童発達支援センター）言語聴覚士
言語聴覚士として、肢体不自由や重症心身障害児・者の食事やコミュニケーション訓練、また、発達障害児のコミュニケーションやご家族への講演活動も積極的に行っている。

【略 歴】

- 諫早療育園
- 加古川市立つつじ療育園
- 誠愛リハビリテーション病院
- 倉敷成人病センター
- 柳川リハビリテーション学院外来講師
- 福岡国際医療福祉学院外来講師
- NPO法人それいゆ
- こぐま学園
- 聖ヨゼフ園を経て現職（こぐま学園）